

注3

大学番号：私232

[平成28年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

大阪成蹊大学 マネジメント学部 スポーツマネジメント学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大阪成蹊学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

経営企画本部

クイエイクカク ホンブチョウ
経営企画本部長

ミヤチ シクキ
宮地 茂樹

電話番号 06-6829-2620

(夜間) 06-6829-2620

F A X 06-6829-2802

e-mail ksh@osaka-seikei.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

マネジメント学部

＜スポーツマネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	39
7. その他全般的事項	40

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大阪成蹊学園

(2) 大学名

大阪成蹊大学

(3) 大学の位置

〒533-0007

大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イイシゲル) 石井 茂 (平成25年4月)		
学長	(ムサシノ マコト) 武蔵野 實 (平成27年4月)		
学部長	(スギハラ ミツ) 杉原 充志 (平成28年4月)	(クニタケ タカシ) (ミノ トシキ) 國方—太司 水野 利昭 (平成28年10月) (平成30年4月)	平成28年10月 辞任のため (29) 平成30年4月 前任者が副学長業務繁多により兼務を解いたため (30)
学科長等	(ウエダ シンジ) 植田 真司 (平成28年4月)	(ミノ トシキ) (ハシモト ヨシコ) 水野—利昭 橋本 良子 (平成29年4月) (平成30年4月)	平成29年4月 健康上の理由のため (29) 平成30年4月 前任者が学部長に昇任のため (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
マネジメント学部 スポーツマネジメント学科 学士(経営学)	経済学関係	4年	110人	3年次 1年次 人	442人	入学定員90人 平成30年4月(30) 編入学定員0人 平成30年4月(30)

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 (-) [4]	-	90 (-) [3]	-	110 (1) [3]	-	-	-	-	-	1.17 倍	
志願者数	247 (-) [1]	- (-) [-]	317 (-) [2]	- (-) [-]	250 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	241 (-) [-]	- (-) [-]	315 (-) [2]	- (-) [-]	246 (-) [2]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	133 (-) [-]	- (-) [-]	122 (-) [-]	- (-) [-]	152 (-) [1]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	109 (-) [-]	- (-) [-]	111 (-) [-]	- (-) [-]	120 (-) [1]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.21		1.23		1.09							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	109 [-] (-)	- [-] (-)	111 [-] (-)	- [-] (-)	120 [1] (-)	- [-] (-)			
2年次	/		104 [-] (-)	- [-] (-)	111 [-] (-)	- [-] (-)			
3年次	/		/		96 [-] (-)	- [-] (-)			
4年次	/		/		/				
計	109 [-] (-)		215 [-] (-)		327 [1] (-)				

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成28年度	109人	5人	平成28年度	5人	0人	
平成29年度	215人	8人	平成28年度	8人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	327人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
合計	651人	13人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{109} = \boxed{4.58} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{215} = \boxed{3.72} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{327} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<マネジメント学部 スポーツマネジメント学科>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・負担		
			必修	選択	教授	准教授	講師	助教	助手				
大学共通科目	基礎学講入門 大学での学びとキャリアを考える	1前	2			1	2	2					
	日本語コミュニケーション1 日本語コミュニケーション2	1前 1後	2 2									3 2	
	情報処理 情報リテラシー1 情報リテラシー2	1前 1後	2 2									3 3	
	英語基礎1 英語基礎2 英語演習1 英語演習2 英語演習3 英語演習4 英語表現1 英語表現2 英語表現3 総合英語A 総合英語B 総合英語C 中国語入門1 中国語入門2 フランス語入門1 フランス語入門2 韓国語入門1 韓国語入門2 海外短期語学研修	1・2前 1・2後 1・2前後 1・2前後 2・3前 2・3後 1・2・3前後 1・2・3後 2・3前 3・4前 3・4後 3・4後 1・2・3前後 1・2・3後 1・2・3前後 1・2・3後 1・2・3前 1・2・3後 1・2・3・4前	2 2									1 1 1 1 1 1 2 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1	
	留学生科目 日本語演習1 日本語演習2 日本語演習3 日本語演習4 総合日本語	1前 1後 2前 2後 3・4前	2 2 2 2 2										1 1 1 1 1
	人間の理解 総合講座「日本人論」 日本の文学 人間と宗教 比較宗教思想史 哲学 心理学 民族学 比較文化論 考古学 身体論 20世紀の芸術	1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前(集) 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1							3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	
	現代社会と国際理解 日本国憲法 国際協力と日本 国際理解教育 人権と社会 現代倫理 社会学概論 多文化共生社会 日本の社会福祉 女性学・男性学 経済入門 メディア・リテラシー 日本史概説 外国史概説 情報と職業	1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2									1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	科学の技術と環境 生命と科学 環境と科学 暮らしの科学 物質と科学 現代科学論	1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2		1							1 1 1 1 1 3	
	地域文化 大阪の風土と文化 京都の文化と芸術 地域理解	1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2 2									1 1 1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・負担		
			必修	選択	教授	准教授	講師	助教	助手				
大学共通科目	基礎学講入門 大学での学びとキャリアを考える	1前	2				1					6	
	日本語コミュニケーション1 日本語コミュニケーション2	1前 1後	2 2									5 5	
	情報処理 情報リテラシー1 情報リテラシー2	1前 1後	2 2									4 4	
	英語基礎I 英語基礎II 英語演習I 英語演習II 英語演習III 英語演習IV 英語表現I 英語表現II 英語表現III(未開講) 総合英語A(未開講) 総合英語B(未開講) 総合英語C(未開講) 中国語入門I 中国語入門II フランス語入門I フランス語入門II 韓国語入門I 韓国語入門II 海外短期語学研修 General English 1 General English 2 English Communication 1 English Communication 2	1・2前 1・2後 1・2前 1・2後 2・3前 2・3後 1・2・3前 1・2・3後 2・3前 3・4前 3・4後 3・4後 1・2・3前後 1・2・3前 1・2・3前後 1・2・3前 1・2・3前 1・2・3後 1・2・3後 1前 1後 1前 1後	2 2									1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2	
	留学生科目 日本語演習1 日本語演習2 日本語演習3 日本語演習4 総合日本語	1前 1後 2前 2後 3・4後	2 2 2 2 2										1 1 1 1 1
	人間の理解 総合講座「日本人論」(未開講) 日本の文学 人間と宗教 比較宗教思想史 哲学 心理学 民族学 比較文化論 考古学 身体論 20世紀の芸術	1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前(集) 1・2・3・4後	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1							3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2	
	現代社会と国際理解 日本国憲法 国際協力と日本 国際理解教育 人権と社会 現代倫理 社会学概論 多文化共生社会 日本の社会福祉 女性学・男性学 経済入門 メディア・リテラシー 日本史概説 外国史概説 情報と職業	1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2									1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	科学の技術と環境 生命と科学 環境と科学 暮らしの科学 物質と科学 現代科学論	1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2		1							1 1 1 1 1 3	
	地域文化 大阪の風土と文化 京都の文化と芸術 地域理解	1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2 2									1 1 1	

【認可時又は届出時】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択, 自由), 専任教員等の配置 (教授, 准教授, 講師, 助教, 助手), 兼任・兼任担任. Rows include 専門キャリア科目, 専門演習科目.

【平成30年度】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択, 自由), 専任教員等の配置 (教授, 准教授, 講師, 助教, 助手), 兼任・兼任担任. Rows include 専門キャリア科目, 専門演習科目.

【平成28年度】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択, 自由), 専任教員等の配置 (教授, 准教授, 講師, 助教, 助手), 兼任・兼任担任. Rows include 大専入門基, 日本語, 情報処理, 英語基礎, 英語演習, 英語表現, 総合英語, 中国語, フランス語, 韓国語, 海外短期語学研修, 留学生科目, 総合講義「日本人論」, 人間の理解, 現代社会と国際理解, 生命と科学.

【平成29年度】

Table with columns: 科目区分, 授業科目の名称, 配当年次, 単位数 (必修, 選択, 自由), 専任教員等の配置 (教授, 准教授, 講師, 助教, 助手), 兼任・兼任担任. Rows include 大専入門基, 日本語, 情報処理, 英語基礎, 英語演習, 英語表現, 総合英語, 中国語, フランス語, 韓国語, 海外短期語学研修, 留学生科目, 総合講義「日本人論」, 人間の理解, 現代社会と国際理解, 生命と科学.

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 学科別専門科目	スポーツビジネスマネジメント実践 スポーツビジネス体験1 スポーツビジネス体験2 海外スポーツビジネス調査 起業家実践 専門インターンシップ	1後	2			1						1	
		1後(兼)	2					1					
		2後	2						1				
		2・3後	2			1			1				
		2・3・4後	2									1	
		3・4前	2			2	1						
	専門演習科目	専門演習1	2前	2			4	2	3				
		専門演習2	2後	2			4	2	3				
		専門演習3	3前	2			4	2	3				
		専門演習4	3後	2			4	2	3				
		専門演習5	4前	2			4	2	3				
		専門演習6	4後	4			4	2	3				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 学科別専門科目	スポーツビジネスマネジメント実践 スポーツビジネス体験1 スポーツビジネス体験2 海外スポーツビジネス調査 起業家実践 専門インターンシップ	1後	2			1						1	
		1後(兼)	2						1				
		2後	2										
		2・3後	2			2							
		2・3・4後	2			1						1	
		3・4前	2			2	1					1	
	専門演習科目	専門演習1	2前	2			4	1	3				
		専門演習2	2後	2			4	1	3				
		専門演習3	3前	2			4	2	3				
		専門演習4	3後	2			4	2	3				
		専門演習5	4前	2			4	2	3				
		専門演習6	4後	4			4	2	3				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

単位数の変更	留意事項への対応のため、「スポーツ産業論」「スポーツマネジメント論」「スポーツマーケティング」の単位数を、「選択2単位」から「必修2単位」に変更。
配当年次の変更	<ul style="list-style-type: none">「英語演習1」の配当年次を「1・2前後」から「1・2前」に変更。「英語演習2」の配当年次を「1・2前後」から「1・2後」に変更。「フランス語入門2」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。「中国語入門2」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。「海外短期語学研修」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後(集)」に変更。「哲学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。「比較文化論」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。「考古学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。「国際協力と日本」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。「経済入門」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。「暮らしの科学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。「スポーツ演習3」の配当年次を「1・2・3・4前後(集)」から「1後(集)」に変更。「健康科学」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。「ビジネス会計応用Ⅰ」の配当年次を「1前」から「1・2前」に変更。「ビジネス会計応用Ⅱ」の配当年次を「1後」から「1・2後」に変更。「スポーツファイナンス」の配当年次を「1・2後」から「1後」に変更。「スポーツビジネス体験1」の配当年次を「1後」から「1後(集)」に変更。
教員配置の変更	<ul style="list-style-type: none">「大学での学びとキャリアを考える」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授2、講師2」から「教授1、准教授1、講師0、兼任・兼任3」に変更。「日本語コミュニケーション1」の兼任・兼任教員の配置を3名から5名に変更。「日本語コミュニケーション2」の兼任・兼任教員の配置を2名から4名に変更。「英語演習1」の兼任・兼任教員の配置を1名から4名に変更。「英語演習2」の兼任・兼任教員の配置を1名から5名に変更。「英語表現1」の兼任・兼任教員の配置を3名から2名に変更。「英語表現2」の兼任・兼任教員の配置を2名から3名に変更。「フランス語入門1」の兼任・兼任教員の配置を2名から4名に変更。「韓国語入門1」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。「心理学」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。「国際協力と日本」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。「経済入門」の専任教員等の配置を、「兼任・兼任1」から「講師1、兼任・兼任1」に変更。「暮らしの科学」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授0、兼任・兼任1」に変更。「スポーツ演習1」の専任教員等の配置を、「教授2、講師1、兼任・兼任2」から「教授1、講師1、兼任・兼任2」に変更。「スポーツ演習2」の専任教員等の配置を、「教授2、講師1、兼任・兼任3」から「教授1、講師1、兼任・兼任2」に変更。「スポーツ演習3」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、講師1、兼任・兼任2」から「教授1、准教授1、講師0、兼任・兼任0」に変更。担当予定教員の就任辞退、授業運営上の理由により、「キャリアデザイン1」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、講師1、兼任・兼任2」から「教授1、准教授1、講師0、兼任・兼任3」に変更。「キャリアデザイン2」の専任教員等の配置を、「准教授1、兼任・兼任2」から「准教授1、講師1、兼任・兼任1」に変更。「キャリアデザイン3」の専任教員等の配置を、「准教授1、兼任・兼任2」から「准教授1、講師1、兼任・兼任1」に変更。「基礎演習1」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授2、講師2」から「教授1、准教授2、講師1、兼任・兼任1」に変更。「基礎演習2」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授2、講師2」から「教授1、准教授2、講師1、兼任・兼任1」に変更。「ビジネス会計Ⅱ」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。担当予定教員の就任辞退に伴い、「サービスマネジメント」の専任教員等の配置を、「准教授1」から「兼任・兼任1」に変更。「流通論」の専任教員等の配置を、教授1名から教授2名に変更。担当予定教員の就任辞退に伴い、「インターネットビジネス」の専任教員等の配置を、准教授1名から兼任・兼任1名に変更。「国際経営論」の専任教員等の配置を、兼任・兼任1名から講師1名に変更。「スポーツファイナンス」の専任教員等の配置を、教授1名から教授2名に変更。担当予定教員の就任辞退に伴い、「スポーツマーケティング」の専任教員等の配置を、准教授1名から兼任・兼任1名に変更。「スポーツビジネス実践」の専任教員等の配置を、「教授1」から「教授1、兼任・兼任1」に変更。「スポーツビジネス体験1」の専任教員等の配置を、「教授1、兼任・兼任1」から「教授1」に変更。「海外スポーツビジネス調査」の専任教員等の配置を、「講師1」から「教授1」に変更。「専門インターンシップ」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習1」の専任教員等の配置を、「教授3、准教授3、講師2」から「教授4、准教授2、講師3」に変更。担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習2」の専任教員等の配置を、「教授3、准教授3、講師2」から「教授4、准教授2、講師3」に変更。担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習3」の専任教員等の配置を、「教授3、准教授3、講師2」から「教授4、准教授2、講師3」に変更。担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習4」の専任教員等の配置を、「教授3、准教授3、講師2」から「教授4、准教授2、講師3」に変更。担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習5」の専任教員等の配置を、「教授3、准教授3、講師2」から「教授4、准教授2、講師3」に変更。担当予定教員の就任辞退に伴い、「専門演習6」の専任教員等の配置を、「教授3、准教授3、講師2」から「教授4、准教授2、講師3」に変更。

【平成29年度】

配当年次の変更	<ul style="list-style-type: none">「日本の文学」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4後」に変更。「社会学概論」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。「スポーツ演習3」の配当年次を「1後(集)」から「1前後(集)」に変更。キャリア教育のあり方の見直しにより、「キャリア演習1」の配当年次を「2前後」から「4前」に変更。「マネジメントインフォメーション」の配当年次を「1後」から「1前後」に変更。
教員配置の変更	<ul style="list-style-type: none">「英語演習1」の兼任・兼任教員の配置を4名から5名に変更。「英語演習3」の兼任・兼任教員の配置を1名から4名に変更。「英語演習4」の兼任・兼任教員の配置を1名から4名に変更。「フランス語入門1」の兼任・兼任教員の配置を4名から5名に変更。「韓国語入門1」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。「心理学」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。「国際協力と日本」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。「社会学概論」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。「生命と科学」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。「地域理解」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。「子どもと文化」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。「スポーツ演習3」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1」から「教授1、准教授1、兼任・兼任2」に変更。担当予定教員の就任に伴い、「キャリアデザイン1」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授1、兼任・兼任3」から「教授1、准教授0、講師1、兼任・兼任3」に変更。担当予定教員の就任に伴い、「キャリアデザイン2」の専任教員等の配置を、「准教授1、兼任・兼任1」から「教授1、准教授0、講師1、兼任・兼任3」に変更。担当予定教員の就任に伴い、「キャリアデザイン3」の専任教員等の配置を、「准教授1、兼任・兼任1」から「教授1、准教授0、講師1、兼任・兼任3」に変更。「インターンシップ1」の専任教員等の配置を、「講師1、兼任・兼任2」から「教授1、講師1、兼任・兼任1」に変更。「キャリア演習1」の専任教員等の配置を、「講師1、兼任・兼任2」から「講師1、兼任・兼任3」に変更。「基礎演習1」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授2、講師1、兼任・兼任1」から「教授2、准教授2、講師1、兼任・兼任1」に変更。「基礎演習2」の専任教員等の配置を、「教授1、准教授2、講師1、兼任・兼任1」から「教授2、准教授2、講師1、兼任・兼任1」に変更。「マネジメントインフォメーション」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。「ビジネス会計Ⅰ」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。「組織とコミュニケーション」の専任教員等の配置を、兼任・兼任1名から教授1名に変更。「流通論」の専任教員等の配置を、教授2名から教授1名に変更。「人事管理」の専任教員等の配置を、兼任・兼任1名から教授1名に変更。「スポーツファイナンス」の専任教員等の配置を、教授2名から教授1名に変更。「スポーツマーケティング」の専任教員等の配置を、兼任・兼任1名から講師1名に変更。「スポーツトレーニング論」の専任教員等の配置を、教授1名から兼任・兼任1名に変更。担当予定教員の就任に伴い、「スポーツキャリア論」の専任教員等の配置を、准教授1名から兼任・兼任1名に変更。「スポーツビジネス体験2」の専任教員等の配置を、講師1名を教授2名に変更。「海外スポーツビジネス調査」の専任教員等の配置を、「教授1、講師1」を「教授1名、兼任・兼任1」に変更。担当予定教員の就任により、「専門演習1」の専任教員等の配置を、「教授4、准教授2、講師3」から「教授4、准教授1、講師3」に変更。担当予定教員の就任により、「専門演習2」の専任教員等の配置を、「教授4、准教授2、講師3」から「教授4、准教授1、講師3」に変更。

【平成30年度】

科目名称の変更

・大学共通科目における語学関連科目の単位数の見直しの理由により、授業科目の名称を「英語基礎1」「英語基礎2」「英語演習1」「英語演習2」「英語演習3」「英語演習4」「英語表現1」「英語表現2」「英語表現3」「中国語入門1」「中国語入門2」「フランス語入門1」「フランス語入門2」「韓国語入門1」「韓国語入門2」から、それぞれ「英語基礎1」「英語基礎2」「英語演習1」「英語演習2」「英語演習3」「英語演習4」「英語表現1」「英語表現2」「英語表現3」「中国語入門1」「中国語入門2」「フランス語入門1」「フランス語入門2」「韓国語入門1」「韓国語入門2」に変更。

単位数の変更

・大学共通科目における語学教育のあり方の見直しの理由により、「英語基礎I」「英語基礎II」「英語演習I」「英語演習II」「英語演習III」「英語演習IV」「英語表現I」「英語表現II」「英語表現III」「総合英語A」「総合英語B」「総合英語C」「中国語入門I」「中国語入門II」「フランス語入門I」「フランス語入門II」「韓国語入門I」「韓国語入門II」の単位数を「2単位」から「1単位」に変更。
・大学共通科目におけるスポーツ関連科目のあり方の見直しの理由により、「スポーツ演習I」「スポーツ演習II」「スポーツ演習III」の単位数を「2単位」から「1単位」に変更。

・大学共通科目におけるスポーツ関連科目の単位数の見直しの理由により、授業科目の名称を「スポーツ演習1」「スポーツ演習2」「スポーツ演習3」から、それぞれ「スポーツ演習I」「スポーツ演習II」「スポーツ演習III」に変更。

科目の追加

・教育課程充実の理由により、「General English 1」「General English 2」「English Communication 1」「English Communication 2」、「Intercultural Studies 1」「Intercultural Studies 2」を新たに開講。

教員配置の変更

・授業運営上の理由により、「大学での学びとキャリアを考える」の専任教員等の配置を「教授I、准教授I」から「教授0、准教授I」、兼任・兼任教員の配置を3名から6名に変更。
・授業運営上の理由により、「日本語コミュニケーション2」の兼任・兼任教員の配置を4名から5名に変更。
・授業運営上の理由により、「情報リテラシー1」の兼任・兼任教員の配置を3名から4名に変更。
・授業運営上の理由により、「情報リテラシー2」の兼任・兼任教員の配置を3名から4名に変更。
・授業運営上の理由により、「英語演習III」の兼任・兼任教員の配置を4名から5名に変更。
・授業運営上の理由により、「英語演習IV」の兼任・兼任教員の配置を4名から5名に変更。
・授業運営上の理由により、「英語表現I」の兼任・兼任教員の配置を2名から4名に変更。
・授業運営上の理由により、「英語表現II」の兼任・兼任教員の配置を3名から4名に変更。
・授業運営上の理由により、「フランス語入門I」の兼任・兼任教員の配置を5名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「海外短期語学研修」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「人間と宗教」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授I」に変更。
・授業運営上の理由により、「哲学」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「身体論」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「日本国憲法」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「人権と社会」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「現代倫理」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「多文化共生社会」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「経済入門」の専任教員等の配置を「講師I」から「講師0」、兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「地域理解」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。
・授業運営上の理由により、「子どもと文化」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「スポーツ演習III」の専任教員等の配置を「教授I、准教授I」から「教授I、准教授0」、兼任・兼任教員の配置を2名から3名に変更。
・授業運営上の理由により、「子どもと文化」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「キャリアデザイン1」の専任教員等の配置を「教授I、准教授0、講師I」から「教授0、准教授I、講師0」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「キャリアデザイン2」の専任教員等の配置を「教授I、准教授0、講師I」から「教授0、准教授2、講師0」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「キャリアデザイン3」の専任教員等の配置を「教授I、准教授0、講師I」から「教授0、准教授2、講師0」に変更。
・授業運営上の理由により、「キャリアデザイン4」の専任教員等の配置を「講師I」から「講師0」、兼任・兼任教員の配置を2名から3名に変更。
・授業運営上の理由により、「キャリアデザイン5」の専任教員等の配置を「講師I」から「講師0」、兼任・兼任教員の配置を2名から4名に変更。
・授業運営上の理由により、「インターンシップ1」の専任教員等の配置を「教授I、准教授0、講師I」から「教授0、准教授I、講師1」に変更。
・授業運営上の理由により、「インターンシップ2」の専任教員等の配置を「准教授0、講師I」から「准教授I、講師1」、兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。
・授業運営上の理由により、「キャリア演習1」の専任教員等の配置を「講師I」から「講師0」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「基礎演習1」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師I」から「教授2、准教授0、講師2」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「基礎演習2」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師I」から「教授2、准教授0、講師2」に変更。
・授業運営上の理由により、「マネジメントイノベーション」の兼任・兼任教員の配置を2名から1名に変更。
・授業運営上の理由により、「ビジネスマネジメント」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「経営戦略論」の兼任・兼任教員の配置を1名から2名に変更。
・授業運営上の理由により、「組織とコミュニケーション」の専任教員等の配置を「教授I」から「教授0」、兼任・兼任教員の配置を0名から1名に変更。
・授業運営上の理由により、「人事管理」の専任教員等の配置を「教授I」から「教授0」、兼任・兼任教員の配置を0名から1名に変更。
・授業運営上の理由により、「企業コンサルティング入門」の専任教員等の配置を「教授I、講師0」から「教授0、講師1」に変更。
・授業運営上の理由により、「スポーツ社会学」の専任教員等の配置を「教授0、講師I」から「教授I、講師0」に変更。
・授業運営上の理由により、「スポーツマーケティング」の専任教員等の配置を「准教授0、講師I」から「准教授I、講師0」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「スポーツ心理学」の専任教員等の配置を「准教授0」、兼任・兼任教員の配置を0名から1名に変更。
・授業運営上の理由により、「スポーツキャリア論」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、兼任・兼任教員の配置を1名から0名に変更。
・授業運営上の理由により、「地域スポーツクラブマネジメント」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師I」、兼任・兼任教員の配置を1名から0名に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「スポーツファシリテイトマネジメント」の専任教員等の配置を「准教授1、講師0」から「准教授0、講師1」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「スポーツビジネス特別講義」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授I」、兼任・兼任教員の配置を1名から1名に変更。
・授業運営上の理由により、「スポーツビジネスマネジメント実践」の専任教員等の配置を「教授I、講師0」から「教授2、講師1」に変更。
・授業運営上の理由により、「スポーツビジネス体験1」の専任教員等の配置を「教授0、講師I」から「教授I、講師0」に変更。
・授業運営上の理由により、「専門インターンシップ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授2、准教授0」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「専門演習1」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、講師3」から「教授5、准教授1、講師4」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「専門演習2」の専任教員等の配置を「教授4、准教授1、講師3」から「教授5、准教授1、講師4」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「専門演習3」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師3」から「教授5、准教授1、講師2」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「専門演習4」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師3」から「教授5、准教授1、講師2」に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「専門演習5」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師3」から「教授6、准教授2、講師1」、兼任・兼任教員の配置を0名から1名に変更。
・担当予定教員の辞任に伴い、「専門演習6」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2、講師3」から「教授6、准教授2、講師1」、兼任・兼任教員の配置を0名から1名に変更。

配当年次の変更

・授業運営上の理由により、「英語表現I」の配当年次を「1・2・3前後」から「1・2・3前」に変更。
・授業運営上の理由により、「海外短期語学研修」の配当年次を「1・2・3・4後(集)」から「1・2・3後」に変更。
・授業運営上の理由により、「総合日本語」の配当年次を「3・4前」から「3・4後」に変更。
・授業運営上の理由により、「人間と宗教」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
・授業運営上の理由により、「身体論」の配当年次を「1・2・3・4前(集)」から「1・2・3・4後(集)」に変更。
・授業運営上の理由により、「日本国憲法」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
・授業運営上の理由により、「人権と社会」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
・授業運営上の理由により、「現代倫理」の配当年次を「1・2・3・4前」から「1・2・3・4前後」に変更。
・授業運営上の理由により、「多文化共生社会」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前後」に変更。
・授業運営上の理由により、「外国史概説」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
・授業運営上の理由により、「子どもと文化」の配当年次を「1・2・3・4後」から「1・2・3・4前」に変更。
・授業運営上の理由により、「スポーツ演習III」の配当年次を「1前後(集)」から「1・2・3・4前後(集)」に変更。
・授業運営上の理由により、「健康科学」の配当年次を「1・2・3・4前後」から「1・2・3・4後」に変更。
・授業運営上の理由により、「キャリア演習1」の配当年次を「4前」から「2前後」に変更。
・授業運営上の理由により、「マネジメントイノベーション」の配当年次を「1前後」から「1後」に変更。
・授業運営上の理由により、「組織とコミュニケーション」の配当年次を「2・3前」から「2・3後」に変更。
・授業運営上の理由により、「リスクマネジメント」の配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。
・授業運営上の理由により、「ビジネス会計応用I」の配当年次を「1・2前」から「1前」に変更。
・授業運営上の理由により、「ビジネス会計応用II」の配当年次を「1・2後」から「1後」に変更。
・授業運営上の理由により、「人事管理」の配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。
・授業運営上の理由により、「情報社会学」の配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。
・授業運営上の理由により、「スポーツ心理学」の配当年次を「2・3後」から「2・3後(集)」に変更。
・授業運営上の理由により、「スポーツビジネス特別講義」の配当年次を「3・4後」から「3・4後(集)」に変更。
・授業運営上の理由により、「スポーツビジネス体験2」の配当年次を「2後」から「2後(集)」に変更。
・授業運営上の理由により、「海外スポーツビジネス調査」の配当年次を「2・3後」から「2・3後(集)」に変更。
・授業運営上の理由により、「専門インターンシップ」の配当年次を「3・4前」から「3・4前(集)」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	128 科目	0 科目	145 科目	20 科目 [3]	131 科目 [3]	0 科目 [0]	151 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	英語表現Ⅲ	1	2・3前	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(30)
2	総合英語A	1	3・4前	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(30)
3	総合英語B	1	3・4後	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(30)
4	総合英語C	1	3・4後	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(30)
5	総合講座「日本人論」	2	1・2・3・4後	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(30)
6	キャリア演習2	2	2後・3前	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(30)
7	キャリア演習3	2	2・3後(集)	一般	選択	大学共通科目区分における開講の調整により、今年度は当該科目を未開講。(30)
8	G I S基礎	2	3・4前	専門	選択	学部共通教育の見直しにより、今年度は当該科目を未開講。(30)
9	G I S応用	2	3・4後	専門	選択	学部共通教育の見直しにより、今年度は当該科目を未開講。(30)
10	プロジェクトマネジメント	2	3・4前	専門	選択	学部共通教育の見直しにより、今年度は当該科目を未開講。(30)
11	情報セキュリティ	2	3・4前	専門	選択	学部共通教育の見直しにより、今年度は当該科目を未開講。(30)

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学共通科目のうち「英語表現Ⅲ」「総合英語ABC」については他に開講する英語系科目、「キャリア演習2」「キャリア演習3」については他に開講するキャリア関連科目、「総合講座『日本人論』」については他に開講する人間の理解に関する科目において、また、学部共通専門科目にあたる「GIS基礎」「GIS応用」「プロジェクトマネジメント」「情報セキュリティ」については他に開講する経営に係る専門科目において、いずれも指導の充実やクラス数・担当教員増によって対応しており、学生の履修に支障が生じないよう配慮している。なお、学生に対しては4月の履修ガイダンス時に周知を図っている。(30)

(注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{11}{145} = \boxed{7.58}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪成蹊短期大学（必要面積15,200㎡）、びわこ成蹊スポーツ大学（必要面積14,400㎡）と共用 運動場用地2箇所は校舎敷地と別地（徒歩約5分に1箇所、公共交通機関利用約50分に1箇所） 「専用」及び「共用する他の学校等の専用」の「その他」面積の変更は土地の購入。「校舎敷地」の変更は使用目的の変更によるもの(28) 「専用」は土地の購入、「共用する他の学校等の専用」はびわこ成蹊スポーツ大学及び大阪成蹊短期大学における土地の使用用途変更及び土地の購入のため(29) 高校用地への用途変更及び敷地の使用用途の変更のため(30)					
	校 舎 敷 地	5,932.24 ㎡ 6,360.24 ㎡ 5,708.37 ㎡	27,043.55 ㎡ 25,780.55 ㎡	51,992.94 ㎡ 51,992.94 ㎡ 50,299.06 ㎡ 50,490.06 ㎡	84,968.73 ㎡ 84,133.73 ㎡ 81,787.98 ㎡ 81,978.98 ㎡						
	運 動 場 用 地	0 ㎡	73,520.01 ㎡	81,761.77 ㎡ 81,761.77 ㎡ 79,482.00 ㎡	155,281.78 ㎡ 155,281.78 ㎡ 153,002.01 ㎡						
	小 計	5,932.24 ㎡ 6,360.24 ㎡ 5,708.37 ㎡	100,563.56 ㎡ 99,300.56 ㎡	133,754.71 ㎡ 133,754.71 ㎡ 129,781.06 ㎡ 129,972.06 ㎡	240,250.51 ㎡ 239,415.51 ㎡ 234,789.99 ㎡ 234,980.99 ㎡						
	そ の 他	0 ㎡ 647.70 ㎡ 0 ㎡	233.71 ㎡ 594.52 ㎡	15,802.11 ㎡ 15,802.11 ㎡ 15,019.28 ㎡ 3,807.28 ㎡	16,035.82 ㎡ 17,044.33 ㎡ 16,261.50 ㎡ 4,401.80 ㎡						
	合 計	5,932.24 ㎡ 7,007.94 ㎡ 6,356.07 ㎡ 5,708.37 ㎡	100,797.27 ㎡ 99,895.08 ㎡	149,556.82 ㎡ 144,800.34 ㎡ 133,779.34 ㎡	256,286.33 ㎡ 256,459.84 ㎡ 251,051.49 ㎡ 239,382.79 ㎡						
(2) 校 舎	専 用	11,428.70 ㎡ 13,197.42 ㎡ 12,415.47 ㎡	22,378.87 ㎡ 20,506.39 ㎡ 20,532.04 ㎡	4,050.57 ㎡ 4,109.71 ㎡ 4,348.39 ㎡	37,858.14 ㎡ 37,813.52 ㎡ 37,295.90 ㎡	大学全体（大阪成蹊短期大学と共用を含む） 教室の利用用途の見直し及び校舎の増築及び教室等の改築を行ったため(28) 部屋の使用用途変更のため(30)					
	共 用	(11,428.70 ㎡) (13,197.42 ㎡) (12,415.47 ㎡)	(22,378.87 ㎡) (20,506.39 ㎡) (20,532.04 ㎡)	(4,050.57 ㎡) (4,109.71 ㎡) (4,348.39 ㎡)	(37,858.14 ㎡) (37,813.52 ㎡) (37,295.90 ㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	19 室 15 室	演 習 室	34 室 32 室	実験実習室	163 室 47 室	情報処理学習施設	13 室 11 室 10 室	語学学習施設	2 室 1 室 0 室	大学全体（大阪成蹊短期大学と共用を含む） 教室の利用用途の見直し及び校舎の増築及び教室等の改築を行ったため(28) 共用教室の見直し及び英語教育センター設置のため(30)
	補助職員	-人	補助職員	-人							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数		教員増のため(30)						
	マネジメント学部 スポーツマネジメント学科		13 12 室								
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	スポーツマネジメント学科単位での特定不能なため、大学全体の数（大阪成蹊短期大学との共用を含む） 図書及び視聴覚資料は、新規購入による(28) 図書及び電子ジャーナルは、新規購入による(29) 新規購入による(30)			
	スポーツマネジメント学科	307,912 [39,263] 304,978 [38,5152] 302,968 [38,430] 291,391 [33,631]	11,004 [8,840] 2,540 [390]	8,707 [8,707] 7,907 [7,907] 257 [257]	6,481 3,105 3,093	3,449	34				
	計	(307,912 [39,263]) (304,978 [38,5152]) (302,968 [38,430]) (291,391 [33,631])	(11,004 [8,840]) (2,540 [390])	(8,707 [8,707]) (7,907 [7,907]) (257 [257])	(6,481) (3,105) (3,093)	(3,449)	(34)				
(6) 図 書 館	面 積	1,730.14 ㎡ 2,060.08 ㎡ 1,625.74 ㎡ 1,757.74 ㎡	閱 覧 座 席 数	180	収 納 可 能 冊 数	310,000 303,561	大学全体 利便性向上のため図書館の事務室を館内へ移動(28) 図書収納スペースを拡張したため(29) 書庫の使用用途変更のため(30)				
(7) 体 育 館	面 積	2,357.27 ㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要		該当なし		該当なし				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子ジャーナルの整備費を含む（運用コストを含む）			
	経費の見積り	教員1人当り研究費等	360千円	360千円	図書購入費	3,116千円	3,116千円				
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	4,000千円	4,000千円	4,000千円				
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,222千円	972千円	972千円	972千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、私立大学等経常費補助金収入等をもって充当する。									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	大阪成蹊大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学研究科									
教育学専攻	2	5	-	10	修士 (教育学)	1.40	平成30年度	大阪府大阪市東淀川区 相川3丁目10番62号	
マネジメント学部									
マネジメント学科	4	70	3年次 ₁	282	学士 (経営学)	1.07	平成15年度	同上	
スポーツマネジメント学科	4	110	3年次 ₁	442	学士 (経営学)	1.17	平成28年度	同上	
国際観光ビジネス学科	4	60	3年次 ₂	244	学士 (経営学)	1.01	平成30年度	同上	
芸術学部									
造形芸術学科	4	177	3年次 ₁	710	学士 (芸術)	1.06	平成18年度	同上	
情報デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度	同上	平成27年より学生募集停止
環境デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度	同上	平成27年より学生募集停止
教育学部									
教育学科	4	180	3年次 ₅	730	学士 (教育学)	1.04	平成26年度	同上	
初等教育専攻	4	120	3年次 ₅	490	学士 (教育学)	1.05	平成26年度	同上	
中等教育専攻	4	60	-	240	学士 (教育学)	1.00	平成30年度	同上	
大学の名称	びわこ成蹊スポーツ大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
スポーツ学研究科									
スポーツ学専攻	2	10	-	20	修士 (スポーツ学)	0.65	平成24年度	滋賀県大津市北比良 1204番地	
スポーツ学部									
スポーツ学科	4	360	-	1,440	学士 (スポーツ学)	1.11	平成27年度	同上	
生涯スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度	同上	平成27年より学生募集停止
競技スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度	同上	平成27年より学生募集停止
大学の名称	大阪成蹊短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
生活デザイン学科	2	50	-	100	短期大学士 (生活デザイン)	1.12	平成28年度	大阪府大阪市東淀川区相 川3丁目10番62号	
調理・製菓学科	2	120	-	240	短期大学士 (調理・製菓)	1.08	平成28年度	同上	
栄養学科	2	120	-	240	短期大学士 (栄養)	0.88	平成28年度	同上	
幼児教育学科	2	300	-	600	短期大学士 (幼児教育)	0.99	昭和31年度	同上	
観光学科	2	90	-	180	短期大学士 (観光)	1.13	昭和42年度	同上	
グローバルコミュニケーション学科	2	30	-	60	短期大学士 (グローバルコミュニケーション)	1.03	平成15年度	同上	
経営会計学科	2	50	-	100	短期大学士 (経営会計)	1.14	平成15年度	同上	
総合生活学科	2	-	-	-	短期大学士 (生活デザイン) (食物) (栄養)	-	昭和26年度	同上	平成28年より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

個人情報を含む内容につき、掲載しておりません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (27年4月)	<p>学科別専門科目のうち、スポーツ産業に関する科目が選択科目になっているが、設置の趣旨に合致した人材養成を行うために、必修科目にする必要はないか検討し、必要であれば必修科目に改めること。</p>	<p>留意事項</p> <p>学科別専門科目のうち、スポーツ産業に関する科目として、専門基礎科目の「スポーツ産業論」、専門基礎科目の「スポーツマネジメント論」と「スポーツマーケティング」の3科目を必修とし、学科の人材養成上必要な基礎を確実に身につけられるよう改めた。(28)</p>	<p>履行済</p>
	<p>専門キャリア科目の「スポーツビジネス体験1・2」及び「海外スポーツビジネス調査」は、企業や団体等の協力の下で行うものと思われるが、具体的な協力企業・団体や講義内容が不明確である。そのため、授業を実施するまでの間に、授業が問題なく実施できるよう準備を万全に行うこと。</p>	<p>留意事項</p> <p>専門キャリア科目の「スポーツビジネス体験1」「スポーツビジネス体験2」「海外スポーツビジネス調査」について、具体的な連携先及び講義内容を明確にし、授業の準備を万全に行っている。(28)</p>	<p>履行済</p>
設置計画履行状況 調 査 時	【該当なし】		

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<マネジメント学部 スポーツマネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大阪成蹊大学では、学部毎にFD委員会を設け、教員の資質の維持向上に努めている。委員会は、学部長が委員長となり、各学科の学科長及び各学科から選出した委員により構成している。なお、その他に本学では、全学的な教学改革を推進することを目的とする教学改革FSD会議を開催しているが（平成28年度実績：全15回開催 平成29年度実績：全10回開催 構成員：理事長・総長、学長、副学長、学部長、学科長、コース主任等の専任教員、高等教育研究所研究員及び幹部職員等）、アドミッション・ポリシーと入試方法の整合、シラバスの一層の充実、アクティブラーニングの推進、適切な成績評価の実施など現時点で20のプロジェクトを立ち上げ、教学改革を推進する中で、各プロジェクトが中心となって教員の資質を高める研修を開催している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度のFD委員会の開催状況は以下の通りである。

6月5日開催（参加状況 100%）

c 委員会の審議事項等

平成29年度 FD研修会開催計画の策定

② 実施状況

a 実施内容（FD）

FD研修として以下の研修を実施し、教員の資質の維持向上を図った。

- ・「平成29年度の教学改革会議プロジェクトの概要について」 平成29年6月15日 （31名出席／34名 出席率91%）
- ・「グループワークのすすめ方について」 平成29年6月29日 （32名出席／33名 出席率97%）
- ・「ルーブリックの活用：①初年次におけるルーブリック（レポート作成）の利用について、②卒業論文指導におけるルーブリック（論文作成、プレゼンテーション、研究活動）について」平成29年9月11日（27名出席／34名 出席率79%）
- ・「シラバス作成に関する留意点について」 平成29年11月23日 （33名出席／35名 出席率94%）
- ・「シラバスチェックに関する留意点について」 平成29年11月23日 （34名出席／35名 出席率97%）

実施内容（SD）

SD研修として以下の研修を実施し、教職員の資質の維持向上を図った。

- ・「平成29年度教学改革「アドミッションポリシーと入試方法の整合」プロジェクト研修会 平成29年7月20日
（大阪成蹊大学教職員 出席者162名）
- ・「入学選抜における適切な面接（受験者の基本的人権を尊重した適切な面接の実施）」 平成29年7月20日
（大阪成蹊大学教職員 出席者162名）
- ・「高大接続改革について」 平成29年10月11日・13日 （大阪成蹊大学教職員 出席者244名）
（その他）
- ・「平成29年度 研究倫理・研究コンプライアンス研修会」 平成29年9月20日
- ・「学部共同研究成果発表」 平成30年3月1日 （22名出席/35名 出席率63%）
- ・授業評価アンケートの実施 平成29年7月10日～28日、平成30年1月9日～29日の前後期1回ずつ実施

b 実施方法

上記取組みは、FD委員会および教学改革FSD会議、大阪成蹊学園に設置する高等教育研究所及び教務本部等との連携を図り実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

前述の通り、前期・後期それぞれでFD研修及び教員の資質の維持向上に係る取組みを実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各期末に、担当授業ごと、各教員は授業報告書・改善計画書を学長に提出するほか、シラバス作成に伴いアクティブラーニング実施計画を個々の教員が作成することとしているが、FD研修や授業評価アンケートの実施結果、教員相互の授業参観における授業改善への気づき、教学改革会議において推進されている改革の趣旨・内容等を踏まえながら改善計画を立案しており、各教員が個々の授業の省察と改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成29年7月10日～28日、平成30年1月9日～29日の前後期1回ずつ実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、授業評価アンケートの結果をフィードバックするとともに、全授業において授業改善計画書の提出を課している。また、学生に対しては、授業評価アンケートの結果を冊子化し、図書館に配架し公表することとしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

スポーツマネジメント学科は、現代の社会・経済・経営・情報環境の下で求められる「スポーツ産業に係るビジネスとマネジメントに関する基礎的能力とスキル」及び「コミュニケーションに関する基礎的能力とスキル」を備え、スポーツ産業における現代の多様な経営課題の解決に貢献できる人材を育成することを設置の目的としている。

初年度は、「大学での学びとキャリアを考える」「日本語コミュニケーション」「情報リテラシー」等、大学生に必要なアカデミックスキルや、社会人としても求められるリテラシーを身につける大学共通基礎科目のほか、幅広い教養を身につけるための教養科目を開講した。また「マネジメント入門」「ビジネス会計」等の学部共通専門科目や「スポーツ産業論」「スポーツファイナンス」等の学科別専門科目を通じて、スポーツマネジメントの基礎を身につけることのできる科目を開講した。入学前教育や、新入生宿泊研修等、4年間を通して学び合う仲間として学生が互いの理解を深めながら、大学での学びを円滑にスタートできるようなプログラムも展開している。2日目には、経営の基礎・基幹を養う科目の開講、「スポーツマネジメント論」「スポーツマーケティング」などスポーツビジネスの基幹を養う必修科目の開講のほか、卒業論文作成に向けて、卒業まで連続して開講しゼミ指導を行う「専門演習」科目を開講し、基礎から基幹への移行を円滑にできるよう設置計画に沿った科目の開講と指導体制の充実を図ることができた。3日目は、経営の基幹を固めつつ、学生の学術的興味・関心に応じて選択して履修のできる科目を開講するほか、「専門演習3.4」を開講し、卒業研究に向けて研究テーマを明確にするためのゼミ指導を展開することとなる。学生、教員それぞれに専門演習・卒業研究のためのガイドラインを作成し、配布するなどして、より質の高い研究をめざしている。

なお本年度の開講においても、学生にとってより分かりやすいシラバスの作成や養成する人材像ごとの履修モデルの作成を行い、教育内容や履修系統を学生に対して適切に示すことで、教育効果の向上を図っている。また、各教員が、学生一人ひとりの学修状況や授業への出席状況、進路希望の状況などを把握・共有し、助言・指導を行う体制を整えている。今後も、教育効果を一層高めることができるよう、教育内容や教育体制の一層の充実を図っていく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成29年5月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、関連所属協会等に配布
- ・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受審済（適合）
- ・平成36年度に同評価機関の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成29年 8月 1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

(趣旨)

第1条 この規程は、大阪成蹊大学教授会規程(平成15年4月1日)第4条第2項の規定に基づき、大阪成蹊大学マネジメント学部にて、本学の教学理念に沿った教育活動を向上させるファカルティ・ディベロップメント(以下、「FD」という)の推進を図るため、ファカルティ・ディベロップメント(FD)委員会(以下、「委員会」という)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、次に掲げる活動を行う。

- (1) FDを推進するための施策の検討と実施に関する事
- (2) FDに係わる資料・情報の収集と学内広報に関する事
- (3) FDに係わる調査・研究に関する事
- (4) 授業評価に関する事
- (5) 教育課程編成・実施の方針に関する事
- (6) FDに係わる報告書等の作成に関する事
- (7) 教育活動優秀教員の表彰に関する事
- (8) FDに係わる職員の職能開発(スタッフ・ディベロップメント [SD])との連携に関する事
- (9) FDに係わって学長から諮問があった事項に関する事
- (10) その他FDに関する事

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 学部長
- (2) 学科長
- (3) 教務委員会委員長
- (4) 学部長が推薦した者 若干名
- (5) 教務部長

2 前項第4号の委員は、学長が総長の了解を得た上で委嘱する。

(委員長等)

第4条 委員会に委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

2 委員会には副委員長を置き、学長が総長の了解を得た上で指名した者とする。

(任期)

第5条 第3条第4号の委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項が定める委員以外の委員の任期は、当該役職もしくは委員の在任期間とする。

3 委員に欠員が生じたときは、これを補充する。ただし、その場合の任期は前任者の残存期間とする。

(運営)

第6条 委員会は委員長が招集し、議事を進行する。

2 委員会は構成員の過半数の出席によって成立し、その議決は、出席委員の過半数をもって決する。可否同数のときは、委員長の決めるところによる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その任務を代行する。

(委員以外の出席)

第7条 委員会は、必要に応じて委員以外の者を出席させることができる。

(事務)

第8条 委員会の事務は、教務部において処理する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関わる必要な事項は、委員会が別に定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、委員会および教授会の審議を経て行う。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成22年3月23日)

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月24日)

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年2月23日)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成28年4月21日)

この規程は、平成28年4月21日から施行する。

附 則(平成29年10月30日)

この規程は、平成29年10月30日から施行する。

